

DXによる地域課題解決（PBL） 合同発表会



2024年2月15日（木）に「山口大学・山口県立大学・山口学芸大学 DXによるPBL合同発表会」を、山口市のKDDI維新ホールで開催しました。会場には、PBLを実施した学生、活動を支援した大学の教職員、連携先となった山口県内の企業・団体、この取組みに関心のある高校の教職員など、約200名が参加しました。

今回の合同発表会は、学生が1年間をかけて取り組んだ活動成果を学外の方々にも見てもらい、「学生と県内企業・団体との接点や交流の場」、「大学での人材育成に関する意見交換の場」、「新しい連携先の獲得のためのアピールの場」などにつなげることを目的として開催したものです。

発表を行う本学の学生（国際文化学科「プロジェクト演習」を履修）

最初に、田中学長が「地域の皆様のご支援をいただき、より豊かな学びに発展していくことを期待します」と開会挨拶を行い、続いて本合同発表会の企画を担当した「DXによるPBL実施部会」の座長を務める吉村副学長から開催の趣旨と企業・団体に向けたSPARC事業・PBLに関する説明を行いました。

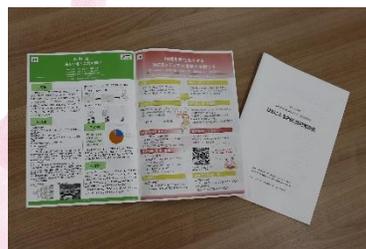
発表会では、3大学からそれぞれ代表1グループがテーマ設定に至った経緯、課題解決に向けた具体的な取組や今後の課題などを10分と限られた時間で発表しました。本学からは、国際文化学科の福田あゆみさん、小野菜月さん、菅本心奈さん、永池あおいさん、豫風あやさんの5名が株式会社ケイ・アル・ワイ・サービスステーションと取り組んだ「地域を活性化させるWEBメディアの開発を体験する」について発表を行いました。3グループの発表に加えて、会場では22グループのポスター展示も実施し、来場された方々と学生との間で活発な質疑応答が行われたほか、学生間交流が行われました。



最後に、発表した22グループの中から「ベストインプレッション賞」を参加者の投票で選出し、3チームが選ばれました。

この合同発表会については、一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムのウェブサイトでも紹介しています。

<https://www.yamaguchi-sparc.jp/>



<ポスター発表を行った本学のグループ一覧>

僕たち・私たちの大冒険 体感して学ぶ！ユニバーサル地域防災	(国際文化学科) 上野桃子、馬返未来、大野萌愛、菅井杏水、鍋島穂香、三好理心
若者に届く、新しい電力広報の開発	(国際文化学科) 島寿莉菜、河崎友里華、村野七海、森田美咲、吉浦芽生、吉山美季
就職活動生が関心を抱く動画の制作	(国際文化学科) 有本楓香、北御門乃愛、田中琉偉、野中優、若松愛子
やましろ地域の魅力発見！若者を魅了するやましろ日帰りお出かけプラン	(国際文化学科) 間世田果林、山本菜音、有村華、塚本真由、松村大河
80周年イベントにおける親睦企画の立案と実施	(国際文化学科) 河野夏実、木村倭己、松本朋也、水口和音、佐伯亜弥
国際交流シェアハウス	(国際文化学科) 堀海緒璃、迫海成、森滝匠、江副さやか、田中向日葵、緒方菜々美
Ouchi Colors(大内カラース)	(文化創造学科) 伊藤美羽、片山夢叶、田中拓海、玉城麻衣、本田梨奈、前田純之介、松本利菜、吉本夏梨

「SPARC教育プログラム論集・報告書 Vol.1」を発刊しました

山口大学を事業責任大学として本学と山口学芸大の3大学が取り組む「ひとや地域（まち・文化・教育）のwell-beingに貢献する文系DX人材の育成」事業は、2022年度に国の「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択されました。

今回、SPARCに係る論文・研究ノートに加え、これまでの本学のSPARC事業に関する取組事例を紹介した「地域活性化人材育成事業・2023年度 SPARC教育プログラム論集・報告書 Vol.1」を発刊いたしましたので、その概要をご紹介します。

- 論文
 - ・地域輩出型人材の育成とその必要性（国際文化学科 阿部真育）
 - ・AI倫理とプライバシーの関係（国際文化学科 吉永敦征）
 - ・より使いやすい学習管理システムの構築に向けて（SPARC推進室 大高光輝）
 - ・テキストマイニングを用いた日本における電力の選択に関するレポートの分析（栄養学科 今村主税）
 - ・A COIL Project : an educational method using ICT to gain new perspectives, knowledge and deeper learning on culture through global communication with American student（国際文化学科 ウィルソン エイミー）
- 研究ノート
 - ・地域学・国際文化実践論の試行（SPARC推進室 東 宮史）
 - ・山口県立大学における「DXによる課題解決(PBL)」の支援体制の構築（SPARC推進室 末本哲雄）
 - ・教学 I Rの試行について（SPARC推進室 佐藤和孝）
- 地域活性化人材育成事業～SPARC～のキックオフシンポジウムの報告
開催日：2023年5月16日 場所：KDDI維新ホール
- 現場密着型地域人材育 産学研連携教育課程 イノベーション F Dの報告
開催日：2023年2月1日 場所：本学
- 「2023産学協力人材養成韓日カンファレンス」の報告
開催日：2023年10月30日、31日 場所：慶南大学校



論集は、本学が取り組んでいるSPARC事業について、より多くの方々に知っていただくため、関係者や県内の高等教育機関に加えて、国会図書館、県内公立図書館等にも配布しました。

職員紹介

3月1日から事業管理・経営企画部門所属の末永久美子（すえながくみこ）さんがSPARC推進室に加わりました。末永さんは国際文化学部再編成に関連して、情報社会学科（仮称）の設置準備や広報の業務を担当しています。



皆様はじめまして。2024年3月より法人経営部事業管理・経営企画部門（特定成長分野）に入職し、SPARC推進室に配属された末永久美子です。
主に、国際文化学部の新学部体制（3学科）の広報や教育環境整備などを担当します。
これからのデジタルを活用した新しい時代の担い手となる学生さんたちが、ワクワクした楽しい未来を創造できるように、陰ながらお役に立てるよう努めてまいります。
微力ではございますが、どうぞよろしく願っています。

編集後記

2024年の年明けから、3大学のDXによるPBL合同発表会の開催や、「SPARC教育プログラム論集・報告書」の発刊、さらには再編後の国際文化学部を紹介したPR動画やリーフレットの作成などが続き、SPARC事業が大きく動いていることを実感しています。

また、連携開設科目の実施要項やアセスメントプランの策定等について3大学で協議を進めてきました。今後は、試行科目を実施する中で、運営上の諸課題の検討や改善を行うこととしています。

今年度は、2025年度に本格スタートするSPARC教育プログラムの魅力や、新たに設置する新学科をより多くの方々に知っていただくよう積極的にPRすることが重要だと考えています。

昨年度のニューズレターでもお伝えしましたが、当室ではSPARC教育プログラムの授業を円滑に進めるために動画制作機器、デジタル一眼レフカメラやワイヤレスマイク、フィールドワーク用ビデオカメラ、電子黒板など様々な備品を購入しております。積極的にご利用いただけますようお願いするとともに、詳細はSPARC推進室までお尋ねください。

<SPARC推進室> 内線：6264 E-mail：sparc-kendai@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp